

出口日出磨略年譜

【明治】

30年12月28日 仁科清吉の二男として岡山県倉敷市阿知町に誕生。戸籍は倉敷市連島町西ノ浦、高見和平次長男「高見元男」として届け出

37年4月1日 連島尋常高等小学校に入学

42年 養父・高見和平次・昇天

43年4月1日 連島尋常高等小学校尋常科を卒業、同校高等科に進学

44年4月1日 県立岡山第一中学校に入学

【大正】

5年9月1日 岡山第六高等学校に入学

8年2月 学友から大本の話を聞く

3月30日 初めて綾部・梅松苑を訪問し、聖師と出会う。参拝・修行する

7月 岡山第室高等学校を卒業

9月 京都帝国大学文学部(文学科)に入学、綾部で献芳に励む

10月 「大本時評」編集に奉仕する

11月18日 旧亀山城跡を入手

9年8月 大正日日新聞社を買収

9月10日 大正日日新聞社に勤務

10年1月5日 第一次大本事件勃発。聖師、検挙される

2月12日 京都帝国大学文学部に復学

5月1日 徴兵検査で第二種輜重輸卒に合格

7月10日 本宮山神殿にご三体の大神さま仮鎮座

10月14日 皇道大本を「大本」と改称

18日 本宮山神殿昇神祭を執行。聖師は「霊界物語」の口述を開始

20日 本宮山神殿を強制破却

11年5月27日 京都帝国大学の大本信徒の学友と「月日俱

【昭和】

楽部」を結成

京都帝国大学文学部を休学

京都市仁和小学校代用教員に就職(12年4月5日辞職)

京都帝国大学文学部の史学科に転学

エスペラントを大本に紹介

京都帝国大学文学部を退学

未決監の聖師と会う

亀岡・天恩郷造宮の献芳作業に奉仕

人類愛善会発足

実父・仁科清吉、昇天

宣伝使に任じられる

綾部庶務課に正式奉仕

天声社編集部に転任

地方宣伝科次長に任じられる

二代教主より、彦火々出見命のご用をする役、三代教主と夫婦になり日の出神の働きをする役であることを聞く

大本事件は大赦令で免訴

三代教主に国文学、東洋史を講義

二代教主より出口家養子決定の旨発表

大宣伝使に昇任、教主補に就任

聖師、五十六歳七カ月となり、みろく大祭を執行

東海方面へ初の巡教

大阪へ巡教

明光俳壇の選者となる

京都、鳥取、島根へ巡教

福知山、四国へ巡教

九州へ巡教

長生殿地鎮祭(4年1月18日地搦ぎ)

月宮殿完成(亀岡)

京都へ巡教

俳号へちまを天品坊極楽に改名

台湾へ巡教

三代教主とともに綾部・教主殿に移る

実弟・仁科範雄、高見家の養子として入籍

「ひとむかし」刊行

奈良、和歌山、大津、山形、福島、栃木、群馬、東京へ巡教

高見家を隠居手続きし、出口家に入籍

箱根、大津、舞鶴へ巡教

山陰地方へ巡教

長女・直美誕生

北陸へ巡教

丹後一円へ巡教

大阪、兵庫へ巡教

道院訪日団参綾、「運霊」と道名を受ける

日本中央院会責任統掌に就任

大本総統補に就任

人類愛善会総統補に就任

滋賀へ巡教

播磨へ巡教

三代教主と山陰へ巡教

三代教主と四国へ巡教

北海道、樺太、奥羽地方へ巡教

人類愛善新聞社が東京進出

東京に神霊問題研究所「菊花会」を創立

人類愛善新聞社長、人類愛善会東洋本部長、東京愛信会会長に就任

明光社総統補に就任

2月

6年2月4日

11月3日

9月

9月10日

8月10日

7月14日

6月

5月

10日

4月4日

3月

2月23日

2月

5年1月

11月

12月

30日

7月

6月

5月21日

4月

5月

4月

6月

7月

9月

11月

12月

16日

11月13日

9月

10月

10日

9月9日

12年

4月

5月

27日

13年

4月

10日

10月

27日

14年

2月

6月

9日

11月

6日

12月

16日

15年

4月

12月

16日

2年

2月

2日

18日

7月

5月

17日

11月

1日

3年

2月

1日

2月

6日

3月

3日

5月

4日

6月

7月

8月

7日

8月

10日

9月

10日

9月

10日

11月

3日

6年

2月

4日

5月23日	中国東北部(旧満州)、朝鮮半島へ巡教	9月	鳥取、九州へ巡教	14年1月30日	分離公判(公判準備手続き)開廷
8月25日	聖師還暦更生祭を執行	10月2日	大本統理、更始会会長に就任	2月6日	公判手続き停止を決定、責付出所、京大付
9月24日	中国東北部へ巡教	27日	長生殿斧始祭を本宮山で執行		属病院精神科に入院
10月4日	中国各地道院流通責任統掌に就任	31日	第一回大本歌祭りを執行(亀岡)	3月13日	大本弁護団は松野孝太郎予審判事を文書
29日	大本満州別院管事、人類愛善会満州連合会 長に就任	11月8日	鳥取県へ。最後の巡教となる	偽造で告発	
7年1月31日	丹波・丹後へ巡教	12月8日	第二次大本事件勃発	10月27日	京大病院より退院、亀岡の中矢田農園に帰 り自宅療養する
2月13日	二女・麻子誕生		京都市堀川警察署に留置される。13日、 五条署へ	15年2月29日	大本事件第一審判決。治安維持法違反・不 敬罪有罪
3月2日	東京、福島、千葉へ巡教		聖師、松江で検挙され、京都市立売署に留 置される	5月	三代教主に歌「はるかぜの吹きのはげしき うつそみを見そなはすらむおからすの神」 を贈る。三代教主返歌「吹きつくる風のは げしきわが夫をあはれみたまへおからす の神」
4月23日	九州、中国東北部へ巡教	11年2月	拷問による強度の精神衰弱で、京都第二日 赤病院に入院		天皇関西行幸のため京大付属病院に再度 強制入院
8月20日	竹田で時局講演	3月13日	大本および関係八団体に解散命令		控訴審公判開始
23日	昭和青年会総裁補に就任	14日	二代教主、検挙される	6月	皇后関西行啓のため京大病院に三たび強 制入院
11月	昭和坤生会顧問に就任	4月	日赤病院から五条署へ		
12月13日	沖繩、奄美諸島、種子島、九州へ巡教	4月18日	当局、綾部・亀岡の聖地を強制売却 開祖奥都城、強制破却。共同墓地に遷柩	10月16日	
8年2月3日	大本を「皇道大本」と改称。	5月11日	綾部・亀岡両本部建造物を強制破却	16年5月	
4月17日	上海へ巡教	18日	三代教主、検挙。綾部署に留置される。 (7月8日釈放)	17年4月18日	退院、穴太の長久館に移る
6月	九州へ巡教	6月26日		7月31日	大本事件第二審判決。治安維持法違反無 罪、不敬罪有罪
6月7日	東京、山梨、神戸へ巡教	7月13日	治安維持法違反で起訴される	8月7日	聖師・二代教主、保釈出所
12月	山陰へ巡教	8月2日	長男・京太郎(幼名・梓)誕生	18年6月17日	三代教主、竹田別院に移る
12月19日	朝鮮半島へ巡教	10日	第一審公判開始	30日	穴太から竹田別院に移る
9年2月6日	伊勢神宮、香良洲神社へ参拜	12年1月	五条署から京都山科刑務所へ		大赦令で大本事件解決。不敬罪有罪判決解 消
5月30日	中国東北部、朝鮮半島へ巡教	5月	事件後初めて京都山科刑務所で三代教主 と面会	20年10月17日	
7月22日	昭和神聖会発会	9月	三代教主、亀岡・中矢田に転居	12月8日	綾部梅松苑で大本事件解決奉告祭
12月14日	朝鮮半島へ巡教	13年7月27日	京都地方裁判所に精神鑑定申し立て	21年2月7日	「愛善苑」として新発足。
10年2月19日	三女・聖子誕生	8月10日	第一審公判開廷	4月1日	機関誌『愛善苑』発刊
4月5日	岡山、姫路、静岡へ巡教	12月21日	三浦百重京都帝国大医学部精神病学主任 教授は「精神分裂症が最も疑わしいもの」 との精神鑑定書を提出	5月23日	鉢伏山開き
5月30日	「信仰叢話」刊行				
6月	丹後へ巡教				
7月1日	大日本武道宣揚会会長に就任				
7月	四国へ巡教				

6月4日	綾部・本宮山に月山不二完成					
8月26日	亀岡・月照山に月の輪台完成					
22年8月27日	聖師喜寿慶祝祭改め瑞生祭を執行					
23年1月19日	聖師昇天。二代教主、苑主に就任。					
11月13日	葉がくれ居を新築（亀岡）					
24年10月29日	愛善苑を「大本愛善苑」と改称					
12月8日	人類愛善会再発足。大本楽天社発足					
25年1月1日	人類愛善新聞復刊。『木の花』発刊					
26年2月3日	竹田から亀岡の照明館に移る					
7月13日	高熱を発し、カンディダ症と診断される					
27年2月4日	開教六十年					
3月31日	二代教主昇天					
4月1日	大本愛善苑を大本と改称。三代教主出口直日、三代教主補出口日出磨となる					
28年4月15日	呉清源と対局する					
31年3月7日	『信仰覚書』全八巻刊行、40・12・28完結					
8月7日	朝陽館完成（亀岡）。					
9月8日	照明館から朝陽館に移る					
32年12月28日	還暦生誕祭を執行					
33年8月7日	万祥殿完成（亀岡）					
38年5月6日	生母・仁科ひでの昇天					
41年3月7日	亀岡・中矢田に梅松館完成、					
9月25日	『生きがいの探求』を講談社から刊行					
11月7日	三代教主補籠解祈念祭を執行					
12月28日	『出口日出磨先生小伝』を刊行					
42年3月7日	梅松祭（三代教主65歳、同教主補古希）					
46年8月16日	朝陽館から梅松館に移る					
12月28日	『ぼたえもん童話集』刊行					
47年4月6日	梅松祭（三代教主古希、尊師75歳）					
12月28日	三代教主補生誕祭。三代教主、舞囃子「竜田」を舞う					
49年5月19日	三河本苑に「神ながら靈幸はへませ大本の					
63年1月23日	出口聖子、教主代行に					
5月3日	教主・教主補ご成婚六十周年記念梅松祭を執行					
11月6日	長生殿立柱祭を執行					
5月3日	不動の信に吾れ奮ひ起つ」の歌碑建つ					
10月16日	『生きがいの創造』を講談社から刊行					
51年11月23日	岡山県倉敷市連島館取神社境内に「神恩洪大」碑建つ					
12月28日	『出口日出磨書画集』刊行					
52年4月6日	傘寿慶祝梅松祭を執行					
53年2月1日	金婚式を迎える					
4月6日	教主・教主補生誕祭および金婚式典を執行					
54年5月3日	梅松祭（三代教主喜寿、尊師82歳）を執行					
5日	緑寿館完成（綾部）					
6月15日	三代教主、緑寿館に移る					
7月16日	亀岡の梅松館から綾部の緑寿館に移る					
55年11月29日	急性肺炎のためグンゼ病院に入院。12月29日退院					
57年5月3日	梅松祭（三代教主傘寿、尊師85歳）を執行					
5月26日	教主継承者（教嗣）の決定を取り消し、出口聖子を教主継承者に決定					
11月6日	三代教主とそろって「おほもと」誌掲載用の写真撮影を受ける（緑寿館能舞台）					
59年5月3日	米寿慶祝梅松祭を執行					
11月6日	長生殿造営を発表					
26日	『生きがいの確信』を講談社から刊行					
60年2月6日	『長生殿』御大事」と染筆。以後、長生殿に関する多数の染筆あり					
11月6日	長生殿造営用地踏み固めのご用を綾部鶴山平で執行					
61年2月3日	長生殿造営委員会発会。長生殿の基本構想を発表					
62年5月5日	長生殿起工祭・地搦きの儀を鶴山平で執行					
8月29日	長生殿針始祭を鶴山平で執行					
12月28日	満九十歳のお祝いを緑寿館で					
元年5月3日	教主米寿慶祝梅松祭を天恩郷で執行					
5日	長生殿上棟祭、白梅殿立柱祭を執行					
11月6日	白梅殿上棟祭、老松殿立柱祭を執行					
18日	『神仙の人・出口日出磨』を講談社から刊行					
2年5月3日	老松殿上棟祭、鶴亀殿立柱祭を執行					
9月23日	三代教主昇天（享年88歳）、出口聖子、教主就任に伴い、教主後見となる。「尊師」の称号を受ける					
3年2月3日	長生殿能舞台・鶴亀殿上棟祭を執行					
5月3日	四代教主就任祝賀全国信徒大会を綾部みろく殿で催す					
12月25日	出口日出磨尊師生誕祭を執行					
	午後八時五十分、急性心不全のため緑寿館公室棟で昇天。満93歳11カ月					